



小谷専門官

国土交通省は12月3日、東京・千代田区のビ

ジョンセンター新橋で令和7年度「流域治水オフショアサポート交流会」を開催した。流域治水のさらなる普及・啓発と暮らしを守るために、流域全体で治水対策に取り組む企業・団体を流域治水課企画専門官があい

り、東京・千代田区のビジョンセンター新橋で令和7年度「流域治水オフショアサポート交流会」を開催した。流域治水のさらなる普及・啓発と暮らしを守るために、流域全体で治水対策に取り組む企業・団体を流域治水課企画専門官があい

国土交通省関係企業・団体が情報交換会



オンラインを含め約240名参加

さつに立ち「流域治水では事前防災に努めながらインフラの整備や避難活動の啓発を行い、ハードとソフトの取り組みを一貫して進めいくことが大切だ。国土強靭化計画に基づき企業のBCP(事業継続計画)やハザード情報を可視化しながら地域のトッププランナーとして危機管理の高度化に努めていたたきたい」と呼びかけた。このあと国交省担当者が「流域治水の動向につ

いて認定。11月末現在で148企業・団体が参画している。当日はオンラインを含め関係者約240名が参画している。

として認定。11月末現在で148企業・団体が参

加している。

として認定。11月末現在で148企業・団体が参

加している